

「エリスの愛は、偽りだ。」

なぜ、このテーマにしたかといううと、初め舞姫が成り立つ理由について書こうと思いましたが、みんなの批判があったからです。なので、エリスの愛は、偽りというテーマにしました。

読んだときからうさんくさいとおもってましたが、その根拠について、しらべたかったもので、このテーマにしました。

エリスは、本当に豊太郎を愛していたのでしょうか？

私は、NO だと思う。これから、そう思った理由 3 つ述べる。

①エリスは、豊太郎と会ったときから、計画していたといっても過言ではない。国語の教師が述べていたことだが、「男は、貧しい子や弱い子を守ってあげたいと思ってしまい、そういう女性に弱い。」といていた。

本文でも述べられているように当時の豊太郎は、エリスを美しいと絶賛している。そのことから、豊太郎が、エリスに気をとられるのも仕方がない。エリスのぶりっ子説は、このくらいにしておこう。

まず、初めて会ったときに、家に連れていくだろうか。見ず知らずの人を、見た目ですぐ家までこさせるのは、ありえないと思う。ドイツや欧米諸国は、電話がなくても、自分の名前をすぐなのらないのが、一般的だ。

名乗るの詐欺や、さまざまなトラブルにまきこまれるからである。それくらい警戒心の強い慣習のある人が、連れて行くだろうか。素直そうな人だからだませると思ったのでは、ないだろうか。家に連れて行って、自分が貧しいことをアピールしたかったのでは、ないかと思う。アピールすることで、ますます、豊太郎は、エリスを哀れんで助けてくれる。お金がなく、座長の情婦にされるのがいやだったエリスにとっては、豊太郎は、絶好の鴨だったのだ。

父の葬儀をするということで、もつた金と腕時計だが、葬儀を行ったという文がでていないことから、お金目当てだったのでは、ないかと思われる。しかも、もらうときの目は、いやだとは言わせない目つきで涙をためていたと書いてある。それくらいお金が無く、情婦にさせられるのが嫌だったのだろう。それにそのときのことで、豊太郎が言っていたことで、「本当かわからない」と書いてある。普通、困っている人を見て、そんなことを思うだろうか。このことから、エリスの愛が偽りであることが助長される。

②豊太郎が、天方伯に誘われロシアに行ったとき、そのときは、すでに豊太郎は、相沢に別れるといたりし、日本帰国に心が傾いていたときのことだが、エリスは、毎日手紙を書いたと書いてあった。そうした理由が豊太郎が自分から離れないようにするための方法に見えないだろうか。エリスは、豊太郎が離れかけている、ということをきにしていたので、そうするのも仕方がない。それに、仕事もなかったし、頼るのは、豊太郎だけだ。このことから、自分がいるから、日本に帰れないようにしたのでは、ないだろうか。毎日送ったから、豊太郎は、忘れなかったと書いてある。それに、その前の文で子供ができたという文も書いてあって、豊太郎を逃がさないためだと読めないだろうか。子供ができたのに、捨てる男は、そういない。豊太郎の素直な心から、逃げれなくなるのも仕方が無い。お金にもあまり困らず、情婦にもならなくてよくなった。でも、ここで豊太郎がいなくなったら、子供や、家庭を支える術がなくなる。だから、毎日手紙を送った。そう、考えられないだろうか？このことから、エリスの愛が偽りであることが考えられる。

③最後に、豊太郎がエリスと別れると聞いたときの、話だが、精神的におかしくなったと書いてある。しかし、そのとき、エリスは、精神病院に入るかといわれた時嫌だといった。普通おかしくなったら、入るのでは、ないだろうか。豊太郎が、帰ることを知ったので、もう無理だと思い、おかしくなって、お金ををいてくようさせたかったのでは、ないかと推測される。実際にお金は、相沢がおいていった。精神病院に入らなかったのは、大きな理由とならないだろうか。精神病院に入ったら、病気が治るかもしれないのに、入らなかった。エリスの愛が偽りであったことが、助長される。それに、おかしくなった時のことを、豊太郎は、自覚があるのかわからないと書いてある。愛していたら、信じるし、そう疑問に思わないだろう。このことからエリスのおかしくなったことは、わざとであるということがわかる。

よって、エリスの愛が偽りであったことが、わかるのでは、ないだろうか。

反省点。結局こんな形のテーマ選択になってしまって、まだまだ根拠があまいと思った。少し妄想が入ったりしてしまったと思う。いろんな資料からしっかりいえたらと思った。

参考は、本文、国語教師の発言である。